

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。info@doro-shien.site

久留里線の廃線計画撤回を

内房線と地域を守る会 JR千葉支社へ要請行動 外房線と地域を守る会



「内房線と地域を守る会」「外房線と地域を守る会」は2月13日、JR千葉支社に対して、昨年11月27日に発表した久留里線・久留里〜上総亀山間の廃線計画の撤回及び3月ダイヤ改正に関する改善を求め要請を行いました。

「赤字」口実の廃線を許さない

両会は久留里線の廃線計画について、「赤字を理由にした廃線計画は初めてであり、絶対に認めることはできない」と計画撤回を強く求めました。

久留里線が地域にとって重要な公共交通機関であり、JRが責任をもって鉄道を維持し、列車の運行を行うことを訴えました。

これに対してJR千葉支社の担当者は、「利用状況が少ない」「モードチェンジ計画を撤回する考えはない」と回答しました。

また、「百円を稼ぐのに1万3580円かかる」としていることについて、経費を問いただす声もあがりました。しかし、「公表しない」と回答を拒否しました。

「バス転換は困難」と認める

久留里線をめぐっては、昨年10月に「久留里線沿線交通検討会議」の報告書が出されました。その中では、「路線バスで事業を成り立たせるのは困難」「デマンド交通も厳しい状況」とされています。

そもそもバスへの転換が「困難」とされていることについて、どのように検討したのかという声が上がりました。

千葉支社の担当者は、「そのような部分がありましたか?」とはぐらかす対応。しかしその後、「困難だがバス転換は可能と判断した」と回答しました。JR千葉支社自身も「バス転換は困難」と分かっているにもかかわらずいるのです。

*

さらに、外房線の特急・通勤快速の復活、ワンマン運転中止、通勤・通学時の両数増、駅ホームと列車間の段差・隙間の解消、危険踏切の安全対策の実施、撤去されたホーム待合室の再設置等が要請されました（写真は、JR千葉支社への要請行動参加の内房線の会、外房線の会のメンバー）。